

Aquilion Lightning Helios Edition のご紹介

東芝メディカルシステムズ株式会社
北海道支社 営業推進部 CT 担当 井上学

この度、Aquilion Lightning Helios Edition がデビューしたのでご紹介させていただきます。

Aquilion Lightning Helios Edition は、当社のフラッグシップモデルである Aquilion ONE に搭載している最新技術を継承し、“高画質と低被ばく”をより高いレベルで実現する最新の 80 列/160 スライス CT です。

また、高性能 CT はサイズが大きいというこれまでの常識を覆すコンパクトな設計で、各施設の設置環境に柔軟に対応します。様々な最新技術の搭載により、多様化する医療現場からのニーズに応えられる最新の CT 装置です。



Aquilion Lightning Helios Edition

Aquilion Lightning Helios Edition の 3 つの特長

1. ハードとソフトの両面から高画質化と低被ばく化を実現

X 線出力部から受光部に至るまでの被ばくと画質を決めるあらゆる要素を徹底的にブラッシュアップした東芝独自の X 線光学系技術“PUREViSION Optics”の搭載により、低被ばく撮影の実現はもちろんのこと、画像ノイズやアーチファクトのより少ない鮮明な画像を提供します。また逐次近似画像再構成を応用した“AIDR 3D Enhanced”や金属アーチファクト低減技術である“SEMAR”などのソフトウェアでも、さらなる“高画質化”“低被ばく化”を実現します。

2. CT 検査の安全性とワークフローを考慮した設計

検査を受ける患者さんの年齢や状態にとらわれず、短時間で安全な検査を可能とする設計を施しています。患者さんの検査負担軽減や安全性を考慮し、ガントリ開口径は 780mm のワイドボアを、撮影寝台は 470mm のワイドテーブルを採用しています。また、高精細 0.5mm スライスの 80 列検出器を搭載したことで、広範囲を短時間で撮影することが可能です。高速撮影により、患者さんの息止め時間の短縮が可能になるだけでなく、呼吸や体動によるモーションアーチファクトを抑制し、より鮮明な画像を提供します。さらに高速スキャンと同時に高速画像再構成処理を可能にすることで検査全体のスループットが向上し、CT 検査に関わるすべての方をストレスから解放します。

3. 省スペース、省エネルギーを実現

ガントリのダウンサイジングにより、最小設置スペース 9.8 m² (約 6 畳分) を実現しています。さらにコンソールシステムも一新することで、検査室のみならず操作室に設置するユニットの小型化も実現しました。省設置スペース化により、コンパクト CT を使用していた施設でも高性能 80 列 CT 導入の可能性が広がります。また従来型 64 列クラスの装置と比較し、電源容量もコンパクトになっているため、省エネルギー運用が可能となりランニングコストも抑えられ、病院経営にも貢献します。

と、まじめにご紹介させて頂きましたこの装置には、“Team Helios”という悪の組織・・・ではなく Helios 担当メンバーを集めた社内のワーキンググループが存在します。この“Team Helios”は、全国各支社の CT 担当者の中から選出された 1 名が代表として Helios 会議に参加したり、Helios 資料を作成したりと様々な活動を行っています。先日、東京本社にて第 1 回目の Team Helios 会議が行われました。



Team Helios メンバー (会議後にパシャリ)

Aquilion Lightning Helios Edition は非常にバランスのとれた CT 装置となっております。皆様のご施設にも 1 台いかがですか？